

S A・ネット大阪ニュース 第2号

発行 NPOシルバーアドバイザー・ネット大阪 <http://netosaka.hp.infoseek.co.jp>

〒560-0083 豊中市新千里西町2丁目1-1-1408 TEL・FAX 06-6836-5568

◆ ◆ 理事長退任にあたって ◆ ◆



NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪
顧問 久保 昌之

5月24日の第2期定期総会でNPO創立以来2期間務めさせていただきました理事長職を健康上の理由で退任し、顧問に就任させて頂くことになりました。この間各理事を始め会員の皆様の暖かいご支援・ご協力により大過なく理事長職を勤めさせて頂きましたことを心より感謝申し上げます。

本年5月、大阪府橋下知事あてに「シルバーアドバイザー養成講座及び高齢者大学講座」運営事業存続についての提言書を提出させて頂きましたが、平成16年度に同じような趣旨の提言書を当時の太田知事に提出しています。以来今日までその趣旨に沿い、平成18年9月にSA連絡協議会を母胎としNPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪を設立し、活力ある両講座修了生を中心に地域に根ざした事業活動を続けてまいりました。組織としての今後の課題は、同窓会的組織からより発展的に門戸を開き、多くの人材を受け入れ、他のNPO法人など市民活動グループとのネットワークを広げてゆくことが必要と思います。このたびの橋下改革で20年余の歴史あるSA講座の必要性は評価されつつも平成21年以降の府予算はゼロ査定です。

従来以上に行政との協働を進めつつNPOなど民間主導で新たな発想と仕組みで講座の存続にチエを出しあう必要があります。

退任にあたり、この2年間ご支援を頂きました理事を始め会員の皆様へ厚く御礼を申し上げますと共に、今後NPOシルバーアドバイザー・ネット大阪が新体制の下更なる発展を確信し、微力ながら応援させて頂く所存です。

◆ ◆ 理事長就任のご挨拶 ◆ ◆



NPO 法人シルバーアドバイザー・ネット大阪
理事長 永田 得祐

5月24日開催の第2期定時総会でNPO設立以来2年間理事長として私達をご指導頂いた久保理事長が今回健康上の理由で理事長を退任され顧問職に就任して頂くことになりました。後任の理事長には私が選出されお引き受けさせて頂きました。同時に次期理事長人事を考慮して副理事長3名体制も決定させて頂きました。

5月23日橋下知事宛「シルバーアドバイザー養成講座及び高齢者大学講座」運営事業存続についての提言書を介護支援室長経由で提出いたしましたが、6月5日橋下知事から発表された20年度予算案は予想通り厳しい内容でした。

両講座については、平成20年度は当初予算の80%を確保され講座継続が可能になりましたが、平成21年度は養成講座の必要性は承認されたが事業予算はゼロ査定となっています。従って、平成21年度以降も講座事業を継続するためには、NPOなどの民間団体の協賛で必要資金の確保と受講者負担の改訂など新たな方策について官民協働で知恵を出し合うことが必要です。

時を同じくして、米国の大統領選挙ではオバマ氏が「チェンジ」をキーワードとして民主党大統領候補に決定しました。11月の本選挙結果によっては、米国史上初の黒人系の大統領誕生の可能性が現実味を帯びてきました。

橋下知事も今回の財政改革を第1ステップとして、将来の「道州制」実現で地方財政の完全自立を目指すと言明しています。

当NPO法人もこのような社会変化に対応した「創意」と「自己変革」が必要です。第3期の事業実施方針として、下記の5項目を提案し議決承認を頂きました。

- 1) 3副理事長体制と新理事登用で組織機能の整備強化。
- 2) 広報活動の強化と「魅力あるイベント」の企画で会員の増加。
- 3) 大阪府の財政改革に対応し、両講座存続に向けた提言と活動。
- 4) 行政・大学・他のNPOグループとの協働で「公開講座」の継続実施。
- 5) シニア活動支援センターの運営参加と活動拠点の確保。

以上、第3期も微力ながら私以下新体制で事業計画の達成に取り組みますので、引き続き会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

◆ ◆ 定款の改定 ◆ ◆

第2期定時総会で、次の如くに定款が改定されました。

改定前	改定後
第3章 役員 (役員の種類別) 第12条3(2) 副理事長 1名以上 <u>2名</u> 以下	第3章 役員 (役員の種類別) 第12条 3(2) 副理事長 1名以上 <u>3名</u> 以下 <u>4 理事会が必要と認めた時は、顧問を置くことができる。</u>
第12条 <u>4</u>	第12条 <u>5</u>
第12条 <u>5</u> (職務)	第12条 <u>6</u> (職務)
第13条	第13条 <u>5 顧問は、理事会に出席し、意見を述べるとともに、議決に加わることができる。</u>

◆ ◆ 第3期の役員を選出 ◆ ◆

第2期定時総会で第3期の役員選出について、久保理事長から次の提案がなされました。「定款改定に基づく顧問を引き受けさせていただき、新理事長には永田氏をお願いし、今後の進路を明確にするために3名の副理事長制と新理事を迎える新役員候補」が提案され、下記の役員が承認されました。

第3期新役員	
理事(顧問)	久保 昌之
理事(理事長)	永田 得祐
理事(副理事長)	三田 進一(事業部)
理事(副理事長)	西川 龍夫(広報部)
理事(副理事長)	武内 信憲(管理部 事務局長)
理事	二葉 登代子(おもしろ算数教室事業部)
理事	石井 定雄(介護情報研修センター事業部)
理事	田中 暁子(事務局 総務)
理事	出口 恭一(国際交流事業部)
理事	窪田 泰之(新任)
理事	大川 正彦(新任)(広報部・HP担当)
理事	島田 道子(新任)(事業部・おもしろ算数教室・おもちゃ)
監事	佐藤 宏一(新任)

(*)理事長交代に伴い、定款第2条の主たる事務所が新理事長住所(豊中市)に変更されました。

◆ ◆ 第3期 事業計画 ◆ ◆

第2期定時総会で次の第3期事業計画が提案され、承認されました。

1. 事業の実施方針

- 1) 3副理事長体制と新理事登用で組織機能の整備強化。
- 2) 広報活動の強化と「魅力あるイベント」の企画で会員の増加を目指す。
- 3) 大阪府の財政改革に対応し、S A講座存続に向けた提言と活動。
- 4) 行政・大学・他のNPOグループとの協働で「公開講座」の継続実施。
- 5) シニア活動支援センターの運営参加と活動拠点の確保。

2. 事業の実施に関する事項

1) 大阪府立介護情報・研修センター 福祉用具説明員サポート事業

- ・福祉介護用具説明員で家庭介護講座、介護に関心をおもちの方、在宅で介護をされている方に、自助具、片手編み機講習会を計画する。
- ・予算収入 60万円

2) おもしろ算数教室事業

- ・(内容) ①この教室は、算数マジック・算数パズル・百升計算等を楽しむ。
 - ・小学生を対象としては、楽しみながら、論理的思考力いわゆる「考える力」を育て、根気よく物事に取り組む力や、基礎計算力を身につけることを目指して活動をする。
 - ・高齢者を対象としては、脳の活性化を目指して活動をする。
- ・サポーターが手分けをして、活動場所の開発を図る。
- ・今年度も介護予防教室としての依頼がある。
- ②この教室の運営のために「サポーター養成講座」を開講する。
- ③サポーター会を開催し、新しいパズルの開発を図る。
- ・(実施場所) 大阪ボランティア協会 会議室など
- ・(実施日時) ①「おもしろ算数教室」初級・中級・上級コースを、下記の日時に実施予定。
4・9・10・11月と21年2・3月各々の第2・第4金曜日
- ②「サポーター養成講座」5・6月と12月・21年1月に実施予定
- ・(事業の対象者) ①講座は定員30名で公募する。
- ・(予算収入) 20万円

3) 伝承おもちゃづくり府民塾事業

- ・世代間交流のツールとして、日本の伝承おもちゃづくりの手法を教える。
- ・今期は大阪府福祉基金の助成金を得て「おもちゃづくり府民塾」を開催して高齢者と親子と一緒に共同作業としておもちゃづくりを楽しみ、遊ぶことで親子の「きずな」や「ふれあい」を深めるとともに、子どもたち的高齢者に対する

「敬い」や「思いやり」の気持ちを育てる。

- ・実施日時 通期 15回 延べ20日
- ・実施場所 府下の学校・公民館などの公共施設に加えて、商店街の空き店舗を活用して地域・商店街の賑わいづくりに協力する。
- ・予算収入 60万円

4) 国際交流事業

- ・今期は、昨年度の実績をもとに、また問題点を解明し、今後益々増加するとみられる在留外国人とスムーズに地域社会で共生できるよう、会員および一般の方を対象に外国の文化・習慣・宗教などに関するセミナーやイベントを計画して行く予定です。
- ・予算収入 20万円

◆ ◆ 第3期 組織図 ◆ ◆

第3期の「組織図」につきましては、次の通りです。

